



ファーストの会と国民民主党が 連携します



7月に行われる参議院議員選挙において、国民民主党とファーストの会・都民ファーストの会は、共通政策（裏面）を発表し、東京都選挙区・比例代表において相互推薦し、連携を進めることを決定しました。

東京都選挙区

では



国民民主党がファーストの会の
荒木ちはる代表を推薦

荒木 ちはる

<プロフィール>

1982年3月1日生まれ、熊本県出身。
久留米大学法科大学院法務研究科（法務博士）修了。
小池百合子衆議院議員公設第一秘書などを務め、
東京都議会議員（2017年初当選、現在2期目、中野区選出）
都民ファーストの会代表。

比例代表

では



国民民主党

名簿登載候補予定者（4名）



川合 孝典



竹詰 ひとし



浜口 誠



矢田 わか子

ファーストの会・
都民ファーストの会が
国民民主党の4名の
候補予定者を推薦

参議院議員選挙・東京都選挙区は「候補者名」を、比例代表は「党名」または「候補者名」を書く選挙です。

国民民主党とファーストの会の共通政策

国民民主党とファーストの会は、4月1日、共通政策の実現のため「覚書」の締結を発表しました。

玉木雄一郎代表は、「国民民主党は都議会に議席がない。ファーストの会は国会に議席がなく、相互補完関係が働き、シナジー効果がしっかりだせると思う。ファーストの会が掲げている『東京大改革』を日本大改革につなげていく第一歩にしたい」と語った。

また、ファーストの会・都民ファーストの会の荒木ちはる代表は、「昨年から一緒に勉強会を繰り返し開催し、共通政策も公表した。特に子育て政策について所得制限撤廃を訴えてまいりたい。ど真ん中の中道政党として国民の負託にしっかり応えていきたい」と決意を述べた。

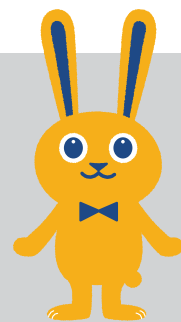


4月1日の記者会見

共通政策

コロナ対策

コロナ対策の科学性と迅速性を向上させつつ、検査キット・ワクチン・治療薬の供給に万全を期し、感染拡大防止と経済社会活動の正常化を目指す。



5分野

- 1** 「給料が上がる経済」を実現、「人への投資」と本気の税制・規制改革で成長を目指す。
- 2** 女性の多様な生き方を支え、誰もが生きやすい社会を目指す。まずは、あらゆる分野でクォータを実現。
- 3** 出産・子育て・教育にお金のかからない国へ。子育て・教育政策の所得制限撤廃。
- 4** モデル世帯とワンパターンの働き方を前提とした今の社会保障制度の現実的改革。未来に向かって持続可能な社会保障制度を目指す。
- 5** 新しい地方分権で、日本をアップデート。まずは、国と自治体の「歳入比率5:5」を実現。歳入比率「6:4」歳出比率「4:6」の矛盾を改善。